

新年度生募集

1クラス3～4名以内の個別指導、必要に応じて一対一

新年度は4月5日（月）開校となります。

受講コース： 小1～小6年生 全9コース

コース別
●E-01 基礎力養成コース 塾では算・国・英語を中心に主に低学年の学習内容を再度学習して基礎力の養成を図ります。(算・国で学校でのテストが 80 点未満である割合が50%を超える生徒さんが対象です。)

●E-1 基本コース 塾では学校での算・国の復習、予習を中心に進めていきます。(算・国で学校でのテストが80点未満である割合が20～30%の生徒さんが対象です。このコースでは読み・書き・計算以外にも文章題や読解の問題にもレベルに合わせてものを積極的に学習してもらいます。)

●E-2 応用コース 中学受験は前提にせず、入塾時の学力に応じた算数・国語・作文力のレベルからスタートし、無学年制を取り入れ、進級テストに合格すると次の級に上がり、難易度も上がります。6年生修了レベルが最終レベルとなります。→**学力があり、向学心のある生徒さんには最適なコースです。**

●E-3 基本コース+小学生英語 英語は小学生英語のテキストを使い、5、6年生の場合はお子さんの能力に応じて中学へ移行できるようなテキストも使います。

●E-4 応用コース+小学生英語 E-3と同様に英語の授業を進めていきます。

特別コース
●EX-1 速読読書コース(わくわく文庫) (小1～中3対象)他の学習塾にないコースです。現在、30 名近くの生徒さんが活用されており、目で活字を追いながらの速読は 右脳に対するプラスの効果と活字の処理能力を大幅に向上させます。

●EX-2 理科実験教室:アインシュタインクラブ(小5～6 年生対象) 理科実験は月、2 回の隔週コースです。実験キットは生徒分準備され、実験テーマは入試に直結したものばかりですが、中学入試に関係なくも面白いコースです。実験後はレポート作成、内容に関連した受験問題の解法を行います。

●EX-3 中高一貫コース 5年生の一年間で6年生までの基礎知識を身につけ6年生より実践問題へ移行していきます。

●EX-4 私立中学受験コース 最初に、可能な限り志望校を設定して頂き、そこから合格するための逆算的な受験勉強をスタートさせていただきます。

小学生のコースは非受験生の場合は、その子の学力をよく見極めた指導コースとなり、潜在的な力を引き出すという観点から考えられています。

きめ細かな学力に対応した指導をさせて頂き、「分かるからおもしろい、おもしろいからまたやってみる。」その連鎖を作ることが一番の目的です。また、教材はプリントの他に、パソコンソフトの使用など、生徒さんの情報処理能力の備え部位に働きかけ、効率的な学習を進めていきます。

聡生館教育理念： 学力とはあくまでも生きる為の道具の一つであり、道具の良し悪しによりその道具を持つ人間の価値までも決して決められる訳ではない。しかし、道具を使うのであれば少しでも良い道具が使えるように生徒一人一人の状況に応じた質の高い指導をするものである。そして、人は心に想い描く通りの人間となれることを自らの熟意、信念と努力により実感し、それをして自己実現を成し得てもらいたい。全ての可能性は常に自らの手の中にあることを忘れずにいて欲しい。

by Dr. K. Otsuhata

入塾をご検討の方は、以下の項目を是非、ご検討してみてください。

- わくわく文庫 ●理科実験教室 ●ピットキャンパス
- 聡生館で必ず学力が上がるための生徒さんと家庭への必須要件

1)わくわく文庫について：こんなに素晴らしいシステムはありません。

読書好きな生徒さんを読書好きに！また、速読の能力を身に付けられる2倍以上の速さでの速読力を身に付けたひのであれば最適な受講コースです。

「わくわく文庫」では200冊以上の書籍(幼児から中学三年生レベル)が教室に準備されており、生徒さんはその中から自分の読みたい本を取り出して、インターネット経由でパソコンから流れてくる朗読をヘッドホンで聞きながら、手にした本の活字を目で追っていくという読書法を取り入れております。朗読の速度は0.8倍から10倍まで可変で、朗読速度が可変であることから、速読の訓練により右脳の発達も期待でき、加えて、文章読解での熟読速度も自然に速くなってきます。また、速読時の内容理解がどの程度であるかは、朗読後に感想文を書いてもらいますので、その判断は感想文を通じて可能です。同時に感想文を書くことは文章力向上へ結びつくと考えております。

わくわく文庫受講方法

受講方法はわくわく文庫単独受講でも結構です。また、通常の学習にプラスされて受講することも可能です。現在、多くの生徒さんは、通常の受講にプラスされております。受講料： 通常受講にプラスされますと1回30分で500円となります。

(1回の利用は15分(250円)からとなります。)

こんな生徒さんと、こんな家庭であれば聡生館で学力が必ず伸びます。これまで、代表の乙幡は学生時代(学部、大学院)の家庭教師や塾講師などを含めると、現在に至るまで400名近くの受験生の指導にあたってきましたがそれを経験し、塾内での様子が見えないような生徒さんと、また生徒さんを取り巻く家庭環境が以下であれば、聡生館で必ず学力が伸びると信じております。

3)ピットキャンパスについて：家庭学習機能、自宅でも予習復習を完璧にチェックできます。

完璧な予習と復習が自宅でもできる素晴らしいe-ラーニングシステムです。基礎から発展までレベル分けされておりましてで学力に応じた学習が可能です。一部は塾内で使用しておりますテキストとも連動しております。

ピットキャンパスを介し、塾生一人一人に連絡もできますし、セフティーメール(入室室中に保護者の方へのメール連絡)機能、また、保護者の方との連絡もピットキャンパスを介して容易にできますので、家庭と塾との結びつきがより強くなり、土台のしっかりした学習体制を作ることができます。

2)アインシュタインクラブ(理科実験教室)： 理科実験の内容は全て受験に直結した内容です。

通常の受験となりますが、どのテーマをとりましても受験に結びついた課題となっています。実験終了後には、その実験に関連した問題を解き、また、レポート作成もしますので、私学受験のみならず中高一貫の受験生にも最適なコースであると確信しております。実験キットは生徒一人一人が自宅へ持ち帰ることができ、自宅でも繰り返し実験することが可能です。

生徒さんの場合： 伸びるための必須要件

- 1) 日々の勉強について勉強の状況を塾から配布した学習予定通帳に必ずつけること。(この4月より全員に配布します。)
- 2) 塾からの学習プログラムに対して真面目にとりくむこと、特に学習方針に問題がなければそれに素直に従うこと。
- 3) 学校での小テスト、定期テスト、その他、実力テストのようなのは必ず「アイン」で保管しておき、テストの返却後にはその都度、満点解答をつくること。

4) 生徒それぞれの学力に応じ、少なくとも定期試験2週間前からは試験勉強を始め、塾での自習室の活用も活用も、計画的な学習をする。計画が上手く立たない場合は塾側で立てた試験対策計画に従うこと。

家庭環境について： 伸びるための必須要件

- 1) 学年にもよりますが、特に小学生高学年から中学生については、帰宅後や休日の友人関係や、行動を十分に把握しておいて下さい。(2) 自宅での学習が思うように進まない場合、「勉強しないさ。」と繰り返し叱責するのではなく、例えば、塾であれば勉強ができるのではないかと、できるだけ塾を利用することを勧めてください。
- 3) 学習意欲が低下している場合には、将来の目標のことも踏まえて、叱るのではなく、体験談なども踏まえながら、家族での和やかなでの話し合いの機会をできるだけ多く持ってください。また、その際、注意すべき点は兄弟間や他人との比較を出して話を進めるのではなく、本人が何を考え、何をしたいのか、学力が全てではないが、そこで努力することの大切さを講ずることが大切です。
- 4) 上記(3)との関連で努力することの大切さ、また、変わることの大切さを子供へ講ずると、親御さん自身も自らを変えていくことの大切なことを子供に気持ちよく伝えることと共感するように話し合うことが大切です。

私自身も母も、大人、子供という区別は何らありません。多分99%以上「あすなる人間ではないでしょうか。」「明日はヒノキになろう。明日はヒノキになろう」と言っており、とうとう成長してしまっているうちにみんなが凡人です。有言実行は本当に難しいことです。今の状況に満足あるいは情性の思いで踏み留まっているとしたら、それは既に「あすなる人間」であり、そんな「あすなる親御さん」であるとすれば、どうしてお子さんを説得したり、叱責したりすることができようか。抱えている努力目標は違っても、目標達成のためにどうやって「あすなる人間」から抜け出せるのか、それをそれぞれの立場で話し合うことこそ、家庭の絆、親と子供の心が通じ合い、とても良好な関係を構築できるのではないのでしょうか。そこに初めて子供さんも努力することの意義を見いだせ、また、学習に対して前向きな姿勢がとれるというものではないでしょうか。そして、最後に次のようにお話して下さい。

「信念と熟意そして努力があれば、人は必ず心に想い描いたとおりの人になれる。」
そして「風は必ず必ずむとむと吹く。」ということ

難関受験コースは学校の定期試験対策は塾ではやりません。少なくとも在籍時の半年～一年先の先取り学習と既習学年については受験に関連した応用問題を基礎から発展へと移行させながら解いていきます。英語圏が中心のコースとなります。

難関校進学コースに限らず中学全年度のコースに在籍する生徒さんで学習意欲のある生徒さんには毎週土曜日の夜、代表、乙幡が主宰する自立学習型学習クラス： 20時～23時の3時間クラスへ参加する権利があります。

聡生館通塾生の在籍校： 前原小・南小・小・学芸大付属小・国立大学南中・南中・二中・緑中・相模中・小平南・調布北・都立国際・国立東京高専・桐蔭/ 東京工科大

J-2,3,4のコース志望の生徒さんは、学習意欲があっても学習計画倒れに終わってしまうケースが多いように思われますので、そのような場合の解決策の一つとして聡生館の自習室(土・日・祝も利用可)を積極的に利用してもらうことが挙げられます。

聡生館

受講コース： 中学生1年生～3年生 全4コース
コース別
J-1: 難関校進学コース (中学1年生～3年生対象)
他人には真似のできないような学習方法で難関校への受験を突破したい。

J-2: 応用力養成コース (予習中心型コース)
成績は中程度であり学習意欲はあるが、なかなか今の成績を自力では上げることができない。学習意欲はあるが、自宅では意志が弱く決まった学習が思うように進まず学力が低迷している。

J-3: 内申点重視型コース 学校の定期試験をベースに塾と自宅の学習を組み立てていきます。

J-4: 基礎力充実コース
普通校に在籍しているが学力がかなり遅れていて、高校進学にも大きな不安を抱えている。

受講コース： 高校1年生～3年生 & 過卒生 全4コース

- コース別
- 個別指導コース
 - H-1 評定平均重視型コース： 学校の試験対策が中心の授業です。
 - H-2 応用力養成コース： 一般受験を前提にして受験対策型の授業です。
 - ブロードバンド受講コース
 - HB-1 ブロードバンド受講のみ
 - HB-2 ブロードバンド受講+個別指導 ブロードバンド受講と個別指導の両面授業の双方から学力を付けていく授業形式です。

受講コース： 大学生・社会人

AS-1 目的対応型コース： 資格試験、大学のレポートとテスト対策のための授業です。
新年度生の募集コースにつきましては受講時間帯、受講料などの詳細はお手数ですが、お問い合わせください。また、新年度時の入塾に向けて3月中の無料体験受講は随時お受けしております。

☎ 381・2894